

プレス発表資料

平成23年2月1日
独立行政法人 防災科学技術研究所

霧島山(新燃岳)噴火に伴う変動を傾斜計で検出 (第3報)

独立行政法人・防災科学技術研究所(理事長: 岡田義光)により、霧島山(新燃岳)では1月31日午前中までは山体の北西約7kmを中心にした収縮が観測されていましたが、同日午後から2月1日10時現在まで収縮を示す傾斜変動は停滞しています。

1. 内容: 別紙資料による。
2. 本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

<内容に関するお問い合わせ>

独立行政法人 防災科学技術研究所
棚田俊收、藤田英輔、鶴川元雄(火山防災研究部)
TEL: 029-863-7571
7537
7536
FAX: 029-851-1622

【連絡先】

独立行政法人 防災科学技術研究所
企画部 広報普及課 佐竹、山科
TEL: 029-863-7783
FAX: 029-851-1622

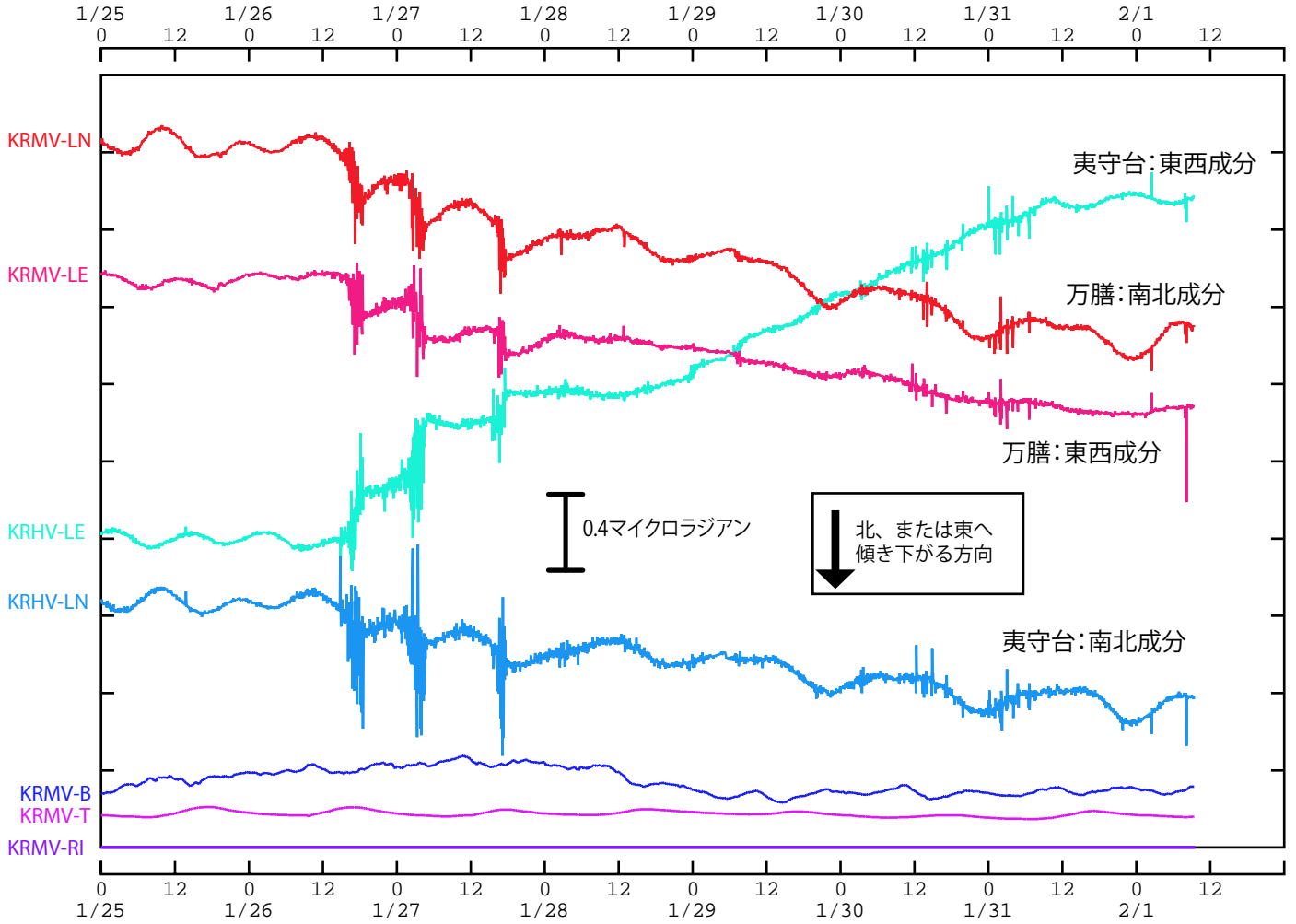
霧島山(新燃岳)噴火に伴う変動を傾斜計で検出

(第3報)

概要

防災科学技術研究所(防災科研)では、霧島山(新燃岳)周辺に設置した4箇所の傾斜計により、1月26日から1月31日午前中までは新燃岳北西約7kmを中心とする明瞭な収縮変動が観測されていましたが、1月31日午後から2月1日10時現在、この傾斜変動は停滞しています。防災科研では今後も傾斜変動と火山活動の関係に注目していきます。

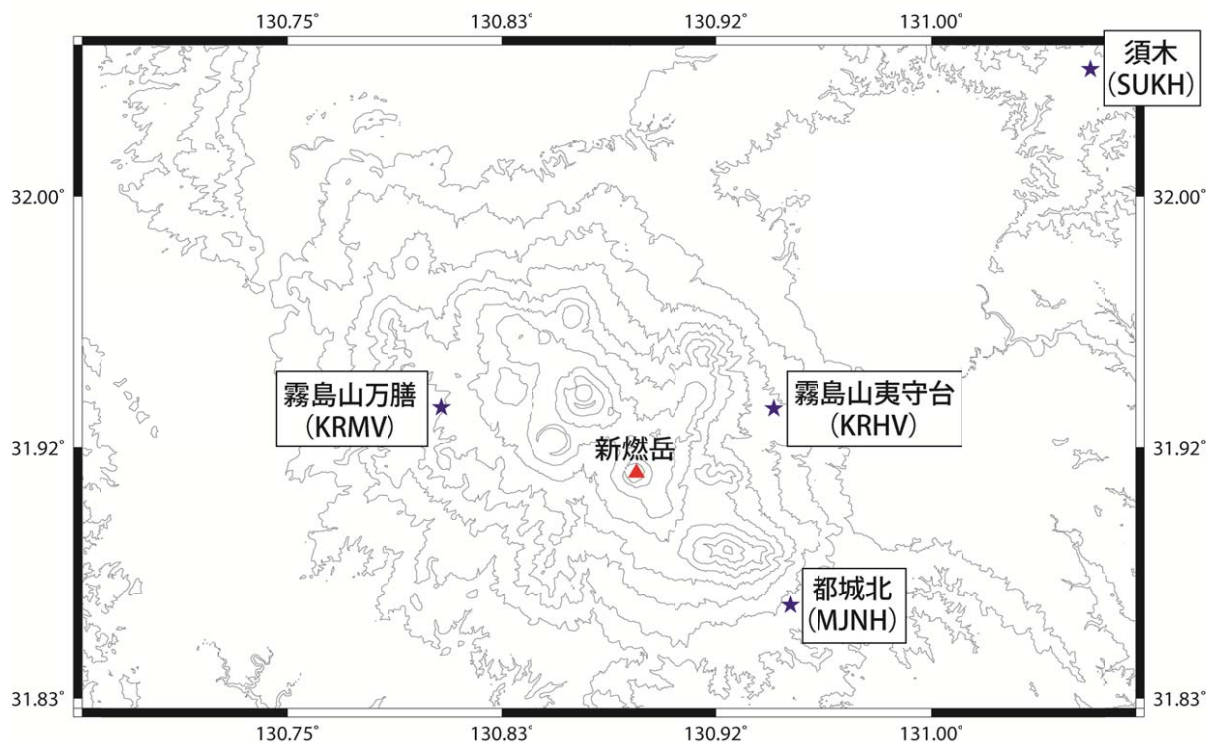
防災科学技術研究所の観測点で記録された傾斜変動



万膳(まんぜん;KRMV)と夷守台(ひなもりだい;KRHV)での傾斜変動図(2011年1月25日～2月1日09時まで)

霧島山(新燃岳)周辺における防災科学技術研究所観測点の概要

■観測点位置



■火山観測点(霧島山万膳・霧島山夷守台)の構成



■Hi-net 観測点(都城北・須木)の構成

